



# おがたっ子



《めざす子ども像》  
**「元気に登校，笑顔で下校」**  
**【自立】** 粘り強く挑戦する子  
**【敬愛】** 自他を大切にする子  
**【創造】** 考えを持ち表現する子

【緒方学園教育目標】 「未来に向かって生きる力」を備えた 緒方っ子の育成



11月版 文責：佐藤 公彦 Tel0974-42-3150 Fax0974-24-4020

## 3・6年提案授業 人権・部落差別解消教育研究大会緒方大会

10月22日、豊後大野市人権・部落差別解消教育研究大会緒方大会が開催されました。小学校では、3年が「ドッジボール」、6年が「渋染一揆」を学習しました。授業後の研究協議では市内の先生方と意見交流が行われ、今後の授業につながる意見が多く出されました。



今も続く差別の現状を変えていくには、まず正しく知る・学習することが大切です。差別に気づき、差別を許さない、差別に立ち上がることができるよう、全学年で学びは続いていきます。たとえ少数であっても、誰もが安心して暮らせる社会になるよう、私たち一人ひとりの人権意識を高めていきましょう。

## 緒方の自慢 かぼすと米

10月15日、3・4年生が小宛の後藤正彦さんを訪ねました。種なしかぼすの説明を聞き、収穫を体験しました。

さらに3・4年生は、11月7日、冬原のあねさん工房に行き、かぼすの皮を使った甘露菓子をつくっているところを見学しました。

5年生は10月24日、下自在の西森さんの田で稲刈りを行いました。雨が続いた後でしたが、自分で刈り取り、束ねて干すという経験ができました。

かぼすも米も、緒方では見慣れたものですが、かぼすや米の持つ価値を大切にして、みなさん生産を続けています。そのすばらしさや緒方でがんばる人に学び、緒方の魅力を知るわくわく楽しい学習を今後も続けていきます。



## 1・2年いのちの授業

10月29日、おおいた動物愛護センターから3人の先生と犬のダンボくんをお迎えして、1・2年生が命の大切さを学ぶ授業が行われました。

おおいた動物愛護センターは、人と動物のふれあいを通じて互いに共生できる社会の実現をめざし、大分県と大分市が共同で設置、運営する施設です。

犬と触れ合ったり心臓の音を聞いたりして、生きていることを確かめ、「私たちと動物の命は同じ」であることを実感しました。また、ペットや家畜動物、野生動物と人間の関係や、動物のために私たちができることなどを学びました。

